

たがいの立場を明確にして、整理しながら話し合おう

中心学習材「よりよい学校生活のために」（光村図書5年）

1 単元の構想

(1) 子供の実態

- ・話し合うことにおいて、役割を意識し、目的に応じて話し合い、意見を比較しながら考えをまとめていくことを理解している。
- ・「話すこと・聞くこと」に苦手意識をもつ子どもが多く、特に、意欲的に話そうとする児童は少ない。
- ・話し合いにおいて、話し合いの段階や意見を整理し、考えをまとめていくことは難しい。

(2) 身に付けたい国語科固有の資質・能力

<指導事項の系統>（既習事項）	<付けたい力>（重点的指導事項）
<ul style="list-style-type: none">・話し合いの目的、決めること、決め方を確かめ、役割に沿って話し合う。（班で）（3年）・メモの仕方（4年）・目的や条件に沿って話し合う。（学級で）（4年）・話の意図を捉えて聞く。（5年）・二つの立場から考、話し合う。（5年）	<ul style="list-style-type: none">〔知〕 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う力 （(2) 情報 イ）〔思〕 互いの立場や意図を明確にしながらかつ画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする力 （A (1) 話し合いの進め方の検討、考えの形成、共有 オ）〔学〕 学習の見通しをもち、問題解決のために粘り強く学習状況を調整しながら話し合おうとする力

(3) 主となる言語活動とその特徴

言語活動 学校生活上の課題について、立場を明確にしながらか意見を整理して話し合い、よりよい解決方法を見つける活動

- 特徴**
- ① 議題に対して立場を明確にする、考えを広げる、考えをまとめるという話し合いの段階を意識しながら計画的に話し合うことができる。
 - ② 違う立場の相手に意見の基となる理由を質問することで、考えを広げることができる。
 - ③ 意見の共通点や相違点に着目しながら、意見を整理し、まとめるための条件を自分たちで決定し、その条件に沿って考えをまとめることができる。
 - ④ 身近で必要感のある課題であり、話し合いへの意欲が高まる。また、話し合いの仕方を調整しながら話し合いの力を付けることができ、今後の活用が期待できる。

(4) 深い学び実現のための手立て

① 働かせる「言葉による見方・考え方」

- ・互いの立場を明確にし、計画的に話し合うために、話し合いの段階を意識する。
- ・考えを広げる話し合いにおいて質問する際、相手の考えを引き出し詳しく知るために、理由・方法等に注目する。
- ・条件を決定して整理しながら話し合い、考えをまとめるために、目的を意識し、意見の共通点や相違点に着目する。

② 主に発揮させたい「学びを推進する力」（汎用的な資質・能力）

論理的に思考する力

- 《発揮させる力》・「比較」「分類」の思考方法を用いて、筋道立てて考える力
《選択の根拠》・「論理的に思考する力」を発揮させたならば、目的を根拠としながらか参加者合意のもとで条件を決定し、整理しながら意見をまとめられると考えるため。

受容・共感する力

- 《発揮させる力》・他者の考えのよさや自分の考えとの違いを受け入れて取り込む力
《選択の根拠》・「受容・共感する力」を発揮させたならば、相手の意見を受け止め、意見の基となる理由を尋ね合い、意見のよさや違いを受け入れることができ、より多くの人が納得し円満に合意できる結論を導き出せるため。

③ 具体的方策

- 方策① 意図を明確にして話し合うために、話し合いの段階が意識できるような板書や掲示を用いて可視化する。
方策② 考えを広げたりまとめたりする話し合いがどのように行われるか捉えるために、音声モデルを提示する。また、目的に照らして必要な条件を設定し、整理して話し合うために思考ツールを用いる。
方策③ 話し合いの段階に沿って適切に話し合われているか評価できるよう、話し合いの様子を録画する。また、話し合いの仕方のよさや課題を相互評価するために、モニタリングをさせる。

2 単元の学習計画

(1) 単元の評価規準

[知]	①出された意見を共通点や相違点に着目しながら比較・分類し、整理しながら話し合ったり記録したりしている。 ((2) 情報 イ)
[思]	①「話すこと・聞くこと」において、意見の基となる理由を尋ね合いながら、立場を明確にして話し合っている。 ②「話すこと・聞くこと」において、話合いの段階を意識し、話合いの目的や方向性を検討しながら計画的に話し合っている。 ③「話すこと・聞くこと」において、様々な視点から検討し、互いの意見の共通点や相違点に着目しながら、考えを広げたりまとめたりしている。 (A (1) 話し合いの進め方の検討, 考えの形成, 共有 オ)
[主]	①自分の立場を明確にしながらか積極的に話合いに参加するとともに、目的に応じてよりよい結論を目指し、自分たちの話合いを調整しながら、粘り強く話し合おうとしている。

(2) 単元の指導と評価の計画 (全6時間)

次	時	○学習活動・学習内容	指導上の留意点 (主に発揮させる「学びを推進する力」)	評価規準 評価方法等
	朝学習など	○これまでの経験から、話合いにおける問題点や悩みについてアンケートを取り、課題意識につなげる。 ・よりよい学校生活のために、新たにしてみたいこと 解決したいこと 改善したいこと についてアンケートを取り、議題設定につなげる。		
	1	○話合いにおける問題点や悩みを共有し、単元で付けたい力を確かめ、学習の見通しをもつ。 ○p134「意見が対立したときは」を読み、受容・共感的対話について理解する。 ○議題を決定し、それに対しての自分の立場を明確にする。 ・議題に対して、現状と問題点、解決方法、理由を考え、自分の立場を明確にする。	・主体的に話合いの学習に参加しようとする意欲を引き出すために、これまでの経験を振り返らせ、具体的な困り感をもとに、明確な課題意識を共有できるようにする。 ・教科書p130の例を参考に付箋を使って整理させる。 <自己決定する力>	[思考・判断・表現①] 観察・ ワークシートの付箋 ・議題について付箋の項目に沿って整理し、自分の立場を決定しているかの確認
一	2	○学習材の話合いを参考に、話合いの仕方を学び、進行計画を立てる。 ・よりよい話合いとは、 ①立場を明確にして参加 ②考えを広げるための話合い ③考えをまとめるための話合い という段階があることを捉える。 ○考えをまとめる話合いにおける、記録の仕方を学ぶ。 ・共通点や相違点をもとに意見を比較・分類し整理する。 ・目的を根拠に条件を決定する。 ○今後の話合いの役割分担をする。	・モデル音声聞きながら捉えた話合いの段階を板書に整理する。 ・話合いの意図を確認し、それぞれの段階における、役割ごとの話し方に注目させる。 ・考えを広げる段階では、質問をしていることに気付かせる。 ・考えをまとめる段階では、共通点や相違点を見出し、それをもとに話合いが進んでいることと、最終的に目的に戻り、問題解決のために一番大切なことを条件に決定して話し合っていることに気付かせる。 ・モデル音声に合わせて、教科書p132のマトリクス軸の決め方や、付箋の動かし方、図への書き込み方を確かめる。 ・単元内での話合いにおける自分の役割を明らかにし、見通しをもたせる。 <見通す力>	[思考・判断・表現②] 観察・ ワークシート ・計画的な話合いにおける段階の捉えと必要性を理解しているかの確認

	3	<p>○「意見が対立したときは」を読み、受容共感した話し方を確かめる。</p> <p>○「考えを広げる話合い」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実と考えを分けて話す。 ・相手の話を受けて自分が考えたことを示す。 ・相手の考えを詳しく知るための質問をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の話を受け止めたり、反論するとき言葉を選んだりすることで、「人」と「意見」を区別できることを確かめる。 ・質問することで、意見の共通点や相違点が明らかになることを確かめる。 ・モニタリングしながら、受容した話し方や質問によって考えが広がったところを相互評価させる。 ・録画した自分たちの話合いを評価し、よさや課題を自覚させる。 <p style="text-align: center;">〈受容・共感する力〉</p>	<p>〔思考・判断・表現①〕 <u>観察・ワークシート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・立場を明確にし、意見を詳しく知るために質問しているかの確認 <p>〔思考・判断・表現③〕 <u>観察・ワークシート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見の共通点や相違点に着目しながら、考えをまとめるための条件を決めて話し合っているかの確認
二	4 (本時)	<p>○「考えをまとめる話合い」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの意見の共通点と相違点を明らかにする。 ・相違点に着目して分類する。 ・条件を決定し、それに沿って考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2時で学習した考えをまとめる段階の話合いについて、どのように整理されているか全体で板書を用いて確認する。 ・相違点に着目して分類したり、目的に応じて条件を決定したりして、マトリクスの中の軸に位置付けることを確認する。 ・モニタリングしながら、受容した話し方や整理しながら考えをまとめることについて相互評価させる。 ・録画した自分たちの話合いを評価し、よさや課題を自覚させる。 <p style="text-align: center;">〈論理的に思考する力〉</p>	<p>〔知識・技能①〕 <u>観察・付箋の移動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見の共通点や相違点に着目しながら、比較・分類、整理して話し合ったり記録したりしているかの確認 <p>〔主体的に学びに取り組む態度〕 <u>観察・ワークシート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを振り返って自分なりの課題をもっているかの確認
	5	<p>○第3・4時の自分たちの話し合いを振り返る。</p> <p>○別の議題について、自分の立場を明確にする。</p> <p>○「考えを広げる話合い」をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを広げたりまとめたりする段階の自分たちの話し合いについて、調整したい課題を確認する。 ・いつも目的に照らして、意見を吟味することに気付かせる。 ・前回の話し合いと比較し、質問することによって相手の考えを詳しく知ることができたかについて評価させる。 <p style="text-align: center;">〈評価する力〉</p>	<p>〔思考・判断・表現①〕 <u>観察・ワークシートの付箋</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・立場を明確にし、意見を詳しく知るために質問しているかの確認 <p>〔思考・判断・表現③〕 <u>観察・ワークシート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見の共通点や相違点に着目しながら、考えをまとめるための条件を決めて話し合っているかの確認
	6	<p>○「考えをまとめる話合い」をする。</p> <p>○決まったことを学級で共有する。</p> <p>○話し合いにおける学びを確かめ、今後の何に生かせるか共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の話し合いと比較し、相違点に着目して意見を比較・分類、整理したり、目的に応じて適切な条件を決定したりしながら、考えをまとめることができたことをメタ認知させる。 ・今回学んだことが、国語における話し合い以外に、どんな場面で活用できるか全体で確認する。 <p style="text-align: center;">〈メタ認知する力〉</p>	<p>〔知識・技能①〕 <u>観察・ワークシート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見の共通点や相違点に着目しながら、比較・分類、整理して話し合ったり記録したりしているかの確認

3 本時の指導（4／6時）

（1）ねらい

互いの意見の共通点や相違点に着目し，比較・分類，整理しながら，目的を根拠に条件を決定して考えをまとめる話し合いをすることができる。

（2）展開

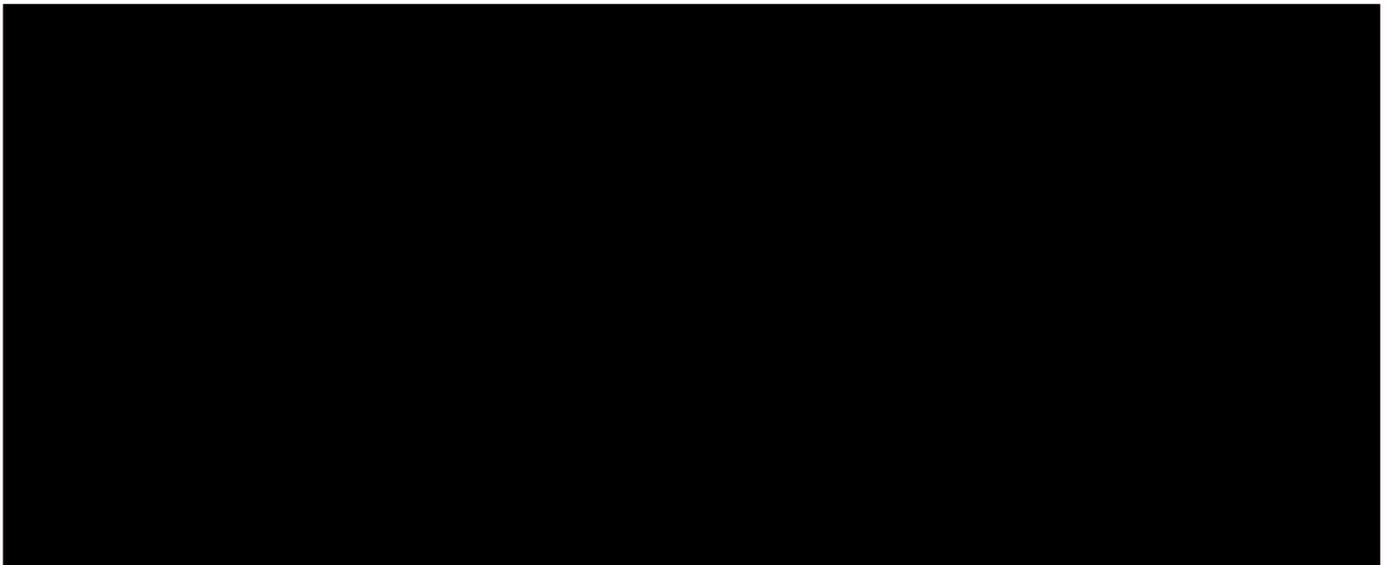
学習活動・学習内容（◎主発問）	指導の手立て 〈主に発揮させる「学びを推進する力」〉（※評価）
<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 学習課題を設定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の立場を明確にした後，質問によって相手の考えを詳しく知る「考えを広げる話し合い」を行ったことを想起できるよう，掲示を用いて確かめる。 最終的によりよい結論を導き出すために，質問によって相手の意見の基を知り，考えを広げた状態からまとめに向かうことを確認する。 掲示を手掛かりに，「考えをまとめる話し合い」においては，共通点や相違点に着目し，比較・分類，整理しながら，まとめるための条件を決定して話し合うという見通しをもたせる。
<p>①意見の共通点や相違点に着目して整理しながら話し合おう。</p> <p>②目的に応じて，問題解決のために一番大切なことを条件に決定し，考えをまとめよう。</p>	
<p>3 「考えをまとめる話し合い」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1，3，5グループが話し合う様子を2，4，6グループがモニタリングする。 <p>（1）互いの共通点や相違点をはっきりさせる。</p> <p>◎出された意見の相違点は何ですか。 出された意見を大きく二つに分けましょう。 それは，何によって分けましたか。</p> <p>（2）考えをまとめるときの条件を決定する。</p> <p>◎目的達成のために一番大切にしたいことは何ですか。</p> <p>（3）条件に沿って話し合い，グループの考えをまとめる。</p> <p>◎条件に合うものの中で，実現可能なものはどれですか。 また，よりよい方法にするために，加えたい部分がありますか。</p> <p>4 話し合いの様子を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 掲示を用いて，「考えをまとめる話し合い」において，共通点や相違点に着目した話し方や，相手の意見を受容してから自分の意見を述べる話し方があったことを想起させる。 話し合いの前に，モニタリングの視点を確認する。 話し合いの様子を全体共有し，評価するために，タブレットで録画する。 司会者と記録者が「解決方法」が書かれた付箋を見ながら今までの意見を相違点に応じて二つに分類し，マトリクスの横軸に位置付けて整理することを確かめる。 条件を決定するために，目的を根拠にすることを板書に位置付ける。 問題解決のために一番大切なことは何かについて，深く議論するよう助言する。 司会者が議題について一番大切なことは何か，全員に問うようにさせる。 条件が決定したら，それを縦軸に位置付けて付箋を分類させる。 （※付箋の移動） 条件に合う意見の中で，実現可能なものや即効性のあるものを選択するよう助言する。 一つに絞るのではなく，工夫して意見を合わせたり，少し変えたりすることもできることを助言する。 〈論理的に思考する力〉 <p style="text-align: right;">（※観察）</p>
<p>モニタリングの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見の共通点や相違点に着目した話し方をし，マトリクスに整理していたか。 目的に戻って，条件を決定していたか。 最後の考えは，目的に合っていたか。 相手を受け止める話し方や，どの意見も尊重する話し方をしていたか。 	

5 話し合いとモニタリングを交代し、話し合いと様子の交流を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングしたグループからはよさを、話し合いグループからは難しかったところを交流し、出された意見を板書して全員でどうすべきなのか考えさせる。 ・必要に応じて、録画したのを見て全体で確認する。
6 学習を振り返り、学びを自覚する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>振り返りの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考えをまとめる話し合い」をするときに大切なこと ・今日の話し合いの内容で、うまくいったこと、見つかった課題 ・友達の話し方や考え方から学んだこと </div>
7 次の学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・出された課題を共有し、別の議題で話し合いを行うことを確認する。

(3) 評価

評価規準 《評価方法》	互いの意見の共通点や相違点に着目して話したり、付箋を移動したりしながら、目的を根拠に条件を決定して考えをまとめる話し合いをしている。《観察・付箋の移動》
見取りの要素と 表現例	<p>○共通点や相違点に着目しているか。</p> <p>話し方…「○○さんと△△さんは～<u>といった点で違いますが</u>・・・」 「<u>どちらも～というところは同じです。</u>」 「<u>いっぽうで～</u>」</p> <p>付箋の移動…相違点を横軸に、決まった条件とその対極を縦軸にとり、付箋を並べる。</p> <p>○目的を根拠に条件を決定する。 「～するために一番大切なことは○○だと思うので、○○を条件にしませんか。」</p> <p>○条件に沿った中で、考えをまとめる。 「条件に合う解決方法の中で、実現可能なものは～だと思います。」 「○○さんの～という考えと、△△さんの～という<u>考えを合わせて、～ということもできるのではないのでしょうか。</u>」</p>
個に応じた支援	<ul style="list-style-type: none"> ・2回目の話し合いの際、話し合いに参加することができるよう、役割に応じて、教師と対話しながら付箋を移動させたり、目的を確かめたりする。 ・前時までの振り返りから困り感を把握し、話し合いに臨む前にそれに対して助言する。

II 授業の実際



◆授業の実際、成果と課題

(1) 成果

①指導事項の解釈を具体化し、単元計画に反映させ、子どもたちと共有した。

主となる指導事項「A(1)オ」の文言について解釈したことを、付けたい力とその方法として子どもたちと共有し、見通しをもって単元を進めた。

- ・ 互いの立場を明確にする → 議題に対してどのような考えをもっているのか、意見の基となる理由を尋ね合う → 相手の意見に対して質問し、より具体的にする
- ・ 意図を明確にする → 話し合いによって何を達成したいかをふまえ、どのように話し合うのか確かめる → 話し合いの方法を確かめる
- ・ 計画的に話し合い → 考えを広げる話し合いなのか、まとめる話し合いなのか → 話し合いの段階を意識し、目的や条件に沿って話し合う。
- ・ 考えを広げたり、まとめたりする。 → 様々な視点から検討する → 互いの意見の共通点や相違点をもとに、目的や条件に沿って意見をまとめる。

②マトリクスを用い、論理的に話し合いができた。

情報と情報の関係付けのためにマトリクスを用いて、意見の分類、整理、付け足しを行い、可視化しながら話し合いを進めた。目的に照らして条件を決め、それを根拠として話し合うことができた。この方法は、合意形成への道筋の一つとして、それぞれの意見のよさを組み合わせることで結論に導くことができると理解し、活用しようとすることができた。

③受容・共感しながら話し合うことで、よりよい結論が導き出されることを実感した。

モニタリングしたり、タブレットで撮影した自分たちの話し合いの様子を客観視したりすることで、相手の話を受容的に聞き、互いの意見のよさに着目することで、よりよい結論にたどり着くことを経験した。国語科として、受容的・共感的な話し方に着目し言葉を吟味することは、他の場面でも生きて働く力につながると思われる。

(2) 課題

- ①それぞれの意見に具体的なイメージをもってから「まとめる話し合い」に進むべきである。
- ②グループの話し合いにおける役割や話し方が曖昧であった。

◆改善案

- ①「いつ・どこで・だれが・どのように」といった、実行するときの具体的なイメージがもてるころまで質問し合い、次の「考えをまとめる話し合い」へ進む。
- ②司会者や記録者の役割や話し方など、もっと話型や使用語句などを提示して、整然と話し合う力を身に付けさせたい。また、このような話し合いの経験を国語科以外でも積み重ねていく。そして、国語科で身に付けた「話し合う力」を他の場面でも活用できるようにする。